

授業科目	* 子ども家庭福祉論				単位	2		
履 修	必修	関連資格	社会福祉士 保育士		ナンバリング	WE21213J		
開講年次	2年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1			
担当教員	山根 正夫							
授業概要	【実務家教員担当科目】 実務家教員として児童福祉施設等での指導員等の経験を踏まえて、現代における子どもと家庭の生活実態とこれを取り巻く社会の状況、ニーズ等についての概要、及び歴史的な変遷、今日の子どもと家庭に関する福祉サービス全般、さらに子どもの権利の発展過程について解説する。さらに、相談援助活動に必要と考えられる子ども家庭福祉分野の各々の制度やサービスの内容、社会資源とのコラボレーションの在り方について解説する。							
学生が達成すべき行動目標	1 現代社会における子どもと家庭とは何かを理解する。 2 子ども家庭福祉の原理と子どもの権利についてその進展の歴史から理解する。 3 子ども家庭福祉に関連する各種の法制度について理解し、説明できる。 4 子ども家庭福祉サービスの実際を理解し、説明できる。 5 子ども家庭福祉における相談援助活動の在り方について理化し、説明できる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	100	小テストは課さない	レポートは課さない	課さない	課さない	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	40						40	
知識・理解 (DP1-2)	40						40	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	0						0	
思考・判断 (DP2-2)	0						0	
関心・意欲 (DP3-1)	20						20	
関心・意欲 (DP3-2)	0						0	
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
定期試験で90%正答できる				定期試験で70%正答できる				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション —授業概要の説明及び現代の子ども家庭福祉の基本的視点について解説する	講義	テキスト該当箇所,授業で紹介する参考文献等で学習を深める	30
2	現代社会と子ども —少子高齢社会における子どもと家庭の現状について解説する	講義	同上	30
3	子どもと家庭を巡る現代的課題 —子どもと貧困の問題について解説する	講義	同上	30
4	子ども家庭福祉の歴史の変遷 —欧米及び日本の子ども家庭福祉の歴史について解説する	講義	同上	30
5	子ども家庭福祉の原理と理念 —現代における子ども家庭福祉の原理と理念について解説する	講義	同上	30
6	子どもと権利 —子どもの権利についての歴史と児童の権利についての条約について解説する	講義	同上	30
7	子ども家庭福祉と法制度1 —児童福祉に関連する主要な法律について解説する	講義	同上	30
8	子ども家庭福祉と法制度2 —児童虐待防止法・DV防止法等	講義	同上	30
9	子ども家庭福祉と法制度3 —行政機関・児童相談所・児童福祉施設等の実施体制について解説する	講義	同上	30
10	子ども家庭の福祉にかかわる現代的課題1 —母子保健・健全育成・ひとり親家庭・障害児の現状と課題支援の在り方について解説する	講義	同上	30
11	子ども家庭福祉にかかわる現代的課題2 —子育て支援・少子化対策・次世代育成について解説する	講義	同上	30
12	子ども家庭福祉にかかわる現代的課題3 —子ども虐待・DVの現状と支援の在り方について解説する	講義	同上	30
13	子ども家庭福祉にかかわる現代的課題4 —社会的養護に関する内容について解説する	講義	同上	30
14	子ども家庭福祉における援助の実際 —相談援助・ケアの在り方・連携の在り方について解説する	講義	同上	30
15	全体のまとめ	講義	同上	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				

23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	内容が多岐にわたり、制度や施策は変化が大きい分野です。歴史的視点のみならず社会学的視点等が求められます。これらについて復習しておいてください。			
テキスト	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度(中央法規)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業で適宜紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	学習内容は多岐にわたります。疑問点等が生じた場合、時間の都合をつけて積極的に質問に来てください			
達成度評価に関するコメント	基本的には定期試験によりますが、標準とした達成度以上を目標に学習を進めてください。			